

事業方針

令和3年8月当協会は設立40周年を迎え、11月15日の記念式典には多数の方にご出席を頂き、無事に終える事が出来た。昭和56年8月7日に「琵琶湖の環境を企業の責任で自主的に守る」との使命感を持った企業を中心に集まり、現協会の前身である滋賀県環境公害防止協会の設立以来、当初の使命を引き継ぎ今日に至っている。

さて、令和3年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受けた。令和2年から終息することなく2年余りが過ぎた。新変異株のオミクロンは感染力が強く、全世界的に経済・社会生活に影響を与えている。協会の事業活動も新型コロナウイルス感染により制約を受け、定時社員総会は会員から委任状を取入れ理事・監事で開催し、法・条例を学ぶ講習会はWeb研修で実施した。琵琶湖博物館で予定していた関西環境管理者交流会は残念ながら中止となった。また2月から3月に開催の地域別環境保全研修会もWeb研修に変更した。令和4年度も先行きが見通せない状況となっているが、協会の事業活動はウイズコロナ・ポストコロナ時代を念頭に置きながら、安全を第一に考え、臨機応変な対応を心掛ける。

そのような状況下、世界では令和3年10月から11月に開催された「国連気候変動枠組条約第26回締約国会議(COP26)」で、今後10年間の気候変動対策を加速させるという世界的合意も強化された。日本では2050年までにCO₂排出を「実質ゼロ」にする目標を打ち出し、脱炭素社会の実現を目指し、滋賀県でも「CO₂ネットゼロ社会づくり」の為にに向けた条例・計画が見直されて施行された。政府は経済成長と環境適合をうまく循環させるための産業政策、いわゆるグリーン成長戦略を掲げ、「2050年のカーボンニュートラル」を目指し、その実現に向けて民間企業のイノベーション創出に対する投資などをバックアップすることを国の役割としている。

今日の環境問題は、地球規模での異常気象、廃棄物の増加など、社会経済活動から生じる、多様且つ複雑なもので環境上の諸課題にあらゆる方面から取り組まなければならない。特に気候変動は、喫緊に取り組むべき環境問題・課題である。異常気象は地球温暖化の影響もあり、令和3年7月に静岡県や神奈川県、8月には九州、北陸、中国地方の集中豪雨が発生している。それは化石燃料の利用という我々の社会経済を支えている活動に起因し、今まで以上に温室効果ガスの排出を減少させる取り組みを進展させていくことが重要となる。循環型社会の構築、自然環境の保全・再生などの諸課題を解決する為には、更なる技術革新と国民の意識改革、自然環境とのかかわりが重要となる。併せて脱炭素と経済成長を両立させる為にはコストの問題も解決しなければならない。

当協会としては、法令遵守に加え、多面的な視点から環境問題を取り上げ、必要な知識を学習・理解してもらうことを目的とした研修会、中央省庁から講師を招いての講演会、産学連携講座や講演会の共催・後援、森林整備ボランティア活動による体験型研修を継続して企画し、環境に関わる人材育成に努める。併せて、滋賀県の協会として、琵琶湖の保全・自然・人がどのように関わるかを考えながら環境共生をつくり出していくことも重要となっており、令和3年に策定された琵琶湖版SDGsであるマザーレイクゴールズ(MLGs)に賛同し、マザーレイクゴールズ(MLGs)の研修会を実施した。今後も時機を得た企画に取り組んでいく。令和4年度も滋賀県琵琶湖環境部、総合企画部、大津市環境部、関係団体との連携を深めながら、公益社団法人として、会員皆様の環境活動にお役に立てる様に主要事業を展開していく。

令和4年度事業計画 委員会別

※文書内():事業仕分 (公)=公益目的事業、(収)=収益事業、(法)=法人管理別

《 総務広報委員会 》

1. (公)・広報誌「碧い湖」 年間2回発行 5月 第74号 11月 第75号
時宜を得た特集テーマをメインに掲載、新規会員企業の紹介する
令和4年1月31日発行分より会員企業の広告掲載(1回 税込10,000円)
2. (公)・「CO₂ネットゼロに関連する条例・計画」確定後の説明及び意見交換
開催日: 令和4年6月10日(金) 15:00～ 滋賀県総合企画部 CO₂ネットゼロ推進課
場 所: 大津市勤労福祉センター
3. (公)・特別講演会
開催日: 令和4年6月28日(火) 15:00～
場 所: 琵琶湖ホテル
講 師: 経済産業省製造産業局 素材産業課課長補佐 名須川 信児氏
4. (公)・新春賀詞交歓会 特別講演会 賀詞交歓会
開催日: 令和5年1月下旬
場 所: 琵琶湖ホテル

《 企画委員会 》

1. (法)・表彰事業(滋賀県環境保全協会長表彰) 令和4年5月27日(金)
令和4年度定時社員総会終了後 場所 びわ湖大津プリンスホテル
個人・団体・企業別表彰後にプレゼンテーションを実施予定
2. (公)・森林整備ボランティア活動
①開催日: 令和4年10月15日(土)
場 所: 朽木 森林公園くつきの森
②開催日: 令和4年10月22日(土)
場 所: 多賀 高取山ふれあい公園
③開催日: 令和4年10月29日(土)
場 所: 栗東 こんぜの里 ①②③共に雨天の場合は中止
3. (公)・産学連携事業
立命館大学・龍谷大学・滋賀県立大学との連携事業継続
① 立命館大学との共催 ・琵琶湖・環境イノベーション研究センターとの共催
② 滋賀県立大学との連携 ・8月～9月インターンシップ生1名程度受入予定
③ 龍谷大学との共催 ・REC BIZ-NET 研究会との連携及び協力
公害防止管理者(水質関係)資格試験「事前受験対策講座」
開催日 : 令和4年6月10日・12日・15日・16日・18日
開催方法: Zoom による Web 開催
主 催 : 龍谷大学 REC・(一財)関西環境管理技術センター
後 援 : (公社)滋賀県環境保全協会
大阪府中小企業家同友会
(公社)京都工業会
(協組)尼崎工業会

《 組織活性化委員会 》

1. (公)・会員増強…【 目標 400 社 】
令和4年度も引き続き会員増強キャンペーンを展開して退会防止に努める
新規会員への滋賀県環境関係条例集の贈呈を今年度中延長とする

2. (公)・「地域別環境保全研修会」(共催:滋賀県 6 環境事務所および大津市の合計 7 地域)
 《目的》…「滋賀県環境事務所 6 ヲ所と大津市環境部環境政策課と連携」
 地域別事業場立入調査の結果報告並びに法改正の情報提供をもとに地元企業の
 共通課題を解決するための研修会としての位置づけで、非会員にも積極的に参加し
 てもらい協会事業の PR の場とする
 開催時期: 令和 5 年 2 月～3 月予定
3. (法)・関西環境管理者交流会
 「滋賀県立琵琶湖博物館」での講演会及び見学会
 令和 4 年度は当協会が幹事(令和 2 年度・3 年度は中止)
 (公社)京都工業会・神戸地区環境保全連絡協議会・当協会
 開催日: 令和 4 年 10 月予定
 場 所: 滋賀県立琵琶湖博物館
4. (公)・企業見学会の開催 詳細未定
 開催日: 令和 4 年 11 月予定

『 継続事業 』

1. (公)・「法・条例を学ぶ講習会」(後援:滋賀県・協力:大津市・共催:(公財)滋賀県環境事業公社)
 《目的》…「当協会の事業のメイン講座としての位置づけから上期実施の継続事業」
 開催予定日: 6 回シリーズ 令和 4 年 9 月 6 日・9 日・14 日・16 日・21 日・28 日
 場 所: コラボしが 21
2. (公)・「地域別環境保全研修会」(共催:滋賀県 6 環境事務所および大津市の合計 7 地域)
 《目的》…「滋賀県環境事務所 6 ヲ所と大津市環境部環境政策課と連携」
 地域別事業場立入調査の結果報告並びに法改正の情報提供をもとに地元企業の
 共通課題を解決するための研修会としての位置づけで、非会員にも積極的に参加し
 てもらい協会事業の PR の場とする
 開催日: 令和 5 年 2 月～3 月予定
3. (公)・大学との連携事業
 《目的》…大学と企業の橋渡し役として大学で行われている「科学技術の基礎研究」と
 企業で行われている実践的な「応用研究・開発」をつなぎ、将来のイノベーションが期待
 される科学技術のシーズを実現化する
- ① 立命館大学との共催 ・琵琶湖・環境イノベーション研究センターとの共催
 - ② 滋賀県立大学との連携 ・8 月～9 月インターンシップ生 1 名程度受入予定
 - ③ 龍谷大学との共催 ・REC BIZ-NET 研究会との連携及び協力

『 新規事業 』

1. (公)・琵琶湖再生法による保全再生と活用との循環の推進
 《目的》…協会より滋賀県へ琵琶湖保全再生施策計画で、森林保護の大切さを訴えてき
 たので、設立 40 周年を契機に、三地域において森林知識を得る勉強会と森林整備ボ
 ランティア活動を実施した。今後は活動内容、実施場所等を検討しながら、定着化を図
 る。
- ① 令和 4 年 10 月 15 日(土) 朽木 森林公園くつきの森
 - ② 令和 4 年 10 月 22 日(土) 多賀 高取山ふれあい公園
 - ③ 令和 4 年 10 月 29 日(土) 栗東 こんぜの里
- ① ② ③共に雨天の場合は中止
2. (公)・2030 年の持続可能社会への目標 マザーレイクゴールズ(MLGs)への取組
 環境と経済・社会活動をつなぐ健全な循環の構築に向け推進していく